



三重県電気工事業工業組合  
 三重県電気工事協力会  
 発行人 角谷利夫  
 編集責任 広報委員会

## 電気工事業 全国大会に参加

「全日電工連」、第四回  
 全国大会が十月二十四日、  
 大阪市の「ホテルニューオ  
 ータニ大阪」で全国各地か  
 ら約八〇〇名が出席し盛大  
 に開催された。当三重工組  
 から角谷理事長始め14名  
 が参加、三分科会での意見  
 発表討議のあと全体会議で  
 「念願の電気工事士法、電  
 気工事業法二法改正を達成  
 し、業界秩序の確立を期そ  
 う」「技術革新の進展にチ  
 ャレンジし、業界の繁栄に  
 道を拓こう」を骨子とした  
 大会決議が全員一致で採択  
 され終了した。



全体会議における執行部



分科会における意見発表

### 基本事項の遵守で

### 年末・年始を無災害で!!

「達成しよう!職場の  
 ゼロ災害」のスローガン  
 のもと、61年度「安全管  
 理基本計画」に基き各地  
 区で日夜熱心に努力され  
 ております。  
 発生となっており、関係  
 ある建設業界では八〇八  
 人、昨年同比では七六八  
 人でやはり四十人増(五  
 ・二%)となり、中でも  
 建築工事関連が二十三  
 人増となっており、こ  
 の建築工事関連災害の約  
 六十%が墜落・転落・切  
 傷などです。一方当組合員に  
 よる災害事例(別項のと  
 おり)でも同様の傾向であ  
 り、あらためて、「基本  
 事項の遵守励行」の必要  
 性が痛感されるところで  
 あります。

最近三重労働基準局か  
 ら発表されました三重県  
 下での61年1月から7月  
 までの災害発生状況によ  
 りますと、全産業の集約  
 で二、三一人となつて  
 おり昨年同比では六十二  
 人増(二・八%)の災害  
 ではありませんか。

どうかこの年末の多忙時  
 期を控え全従業員一人一  
 人の安全意識の高揚を図  
 るとともに「基本事項の  
 遵守」の徹底指導に万全  
 を期され、全員揃って新  
 しいよき年を迎えよう  
 ではありませんか。

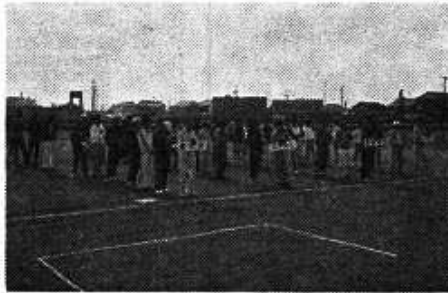
組合本部事業の主なうごき

- 61・10・21(火) (9名出席)
  - 新組合員名簿発行
  - 厚生年金説明研修会 (津会場……24名)
  - 全日電工連 第4回全国大会 (14名出席)
  - 木建安安全委員会(津)
  - 東海電友共済会(津)
  - 東海電友共済会監査会 (浜松)
  - 下期安全推進会議 (13名出席)
  - 共同保守管理委員会 (5名出席)
  - 理事会 (19名出席)
- 61・10・22(水)
  - 東海電友共済会監査会 (浜松)
  - 下期安全推進会議 (13名出席)
  - 共同保守管理委員会 (5名出席)
- 61・10・24(金) (9名出席)
  - 全日電工連 第4回全国大会 (14名出席)
  - 木建安安全委員会(津)
  - 東海電友共済会(津)
  - 東海電友共済会監査会 (浜松)
  - 下期安全推進会議 (13名出席)
  - 共同保守管理委員会 (5名出席)
  - 理事会 (19名出席)
- 61・10・28(火) (5名出席)
  - 厚生委員会 (5名出席)
  - 中部厚生年金基金 (5名出席)
  - 代理委員会 (5名出席)
- 61・10・29(火) 30(水)
  - 中部厚生年金基金 (5名出席)
  - 代理委員会 (5名出席)
- 61・11・6(木)
  - 第三者損害賠償補償 特約保険契約更新
- 61・11・11(火)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)
- 61・11・13(木)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)
  - 東海電友共済会 (津)

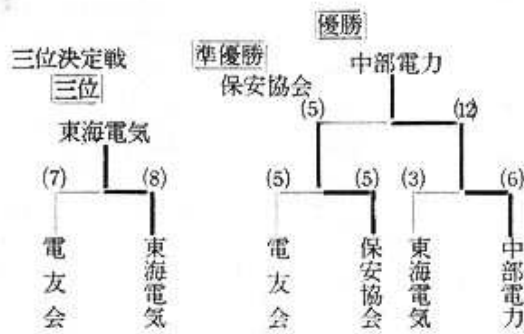
〈四日市地区だより〉

恒例の電気関係者親善ソフトボール大会

61・10・25(土) 9時から四日市市営北条グラウンドにおいて恒例の親善ソフトボール大会を開催、関係者約一〇〇名の参加でトーナメント戦により各チームとも熱戦を繰りひろげ、試合結果はつぎのとおりとなり15時終了した。



勢揃いした各チーム



会員異動のお知らせ

昭和61年10月発行の新名簿を配布いたしました。

その後の会員異動は下記のとおりです。名簿の追記修正をお願いします。

(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録届出申請番号
津	退会		31056	伊藤電気商会	伊藤慶夫	津市大里窪田町1968	0592 32-5311	514-01	61-161
鳥羽	〃		33308	伊藤電気商会	伊米倉康郎	鳥羽市鳥羽3丁目10-27	0599 26-2153	517	61-316
尾鷲	〃		32409	東幸電気商会	東常孝	尾鷲市向井町198	05972 2-1430	519-36	
富田	〃		34320	松栄電気商会	松岡三津雄	四日市市松原町4-3	0593 65-2450	512	(届出) 52-11
伊勢	変更	新旧	33007	吉福電気工業所	吉福達郎	伊勢市宮町1丁目6-8	0596 22-1131	516	(届出) 460031
桑名	〃	新旧	34466	三星電業	伊藤満三	桑名市大字東金井588-22 588-15	0594 22-0014	511	(届出) 83-3

61年度上期

災害状況について

(安全推進会議)

61年4月から9月までに報告された災害発生状況はつぎのとおりとなっております。

幸い本年度は引込関係など重大災害の発生はありませんが、内線工事関係の状況表をみると59・60年度の件数比では多少減少傾向となっておりますが事故内容を検討いたしますと墜落・転倒・切傷が大半であります。また被災者の年令を見

ると最近の傾向として程んど40才以上のベテランの方々の災害、したがってチェックした災害であっても休業日数が長期化傾向であります。経営損失が一段と加わっていることがうかがえます。どうかこの事故例を他人ごととせず、十分配慮され、類似事故の再発防止のため全員参加による安全基本事項の遵守に一層のこの努力をお願いします。

災害発生状況表

項目		年度別		
		59年度	60年度	61年上期
内線工事	感電事故	3	1	0
	墜落	8	16	4
	転倒	12	5	3
	荷物運搬(腰痛)	13	3	0
	その他傷害	6	19	10
小計		42	44	17
交通事故		11	4	4
合計		53	48	21
休務日数計		2,811	1,904	1,013
1人当りの休務日数		53	39	48

事故発生月日	地区	年令	事故内訳	休業日数
3.8	松阪	42	屋内配線中階段で足をすべらせ右足負傷	54
21	桑名	28	アンカーボルト打込中ハンマーで左人指指打撲骨折	21
27	鈴鹿	48	帰宅途中バス停の岩盤に激突、顔・頭・胸・腰打撲	200
30	名張	46	鋼管ボール建立中手がすべり顔に当り手のひら負傷	21
31	四日市	37	ケーブルの皮削中手がすべりナイフで手の平を負傷	10
4.2	上野	45	自転車で銀行へ行く途中転倒して右足捻挫	73
6	四日市	23	単車で走行中右折した際対交車に正面衝突	7
22	津	39	電気温水器取付中熱湯を足にかぶり焼傷した	30
28	〃	39	集金の帰り片田の白銀山道で正面衝突、頭、腰打撲	37
5.2	桑名	40	電線をカッターナイフで切った際、太ももを負傷	30
21	四日市	21	走行中猫が飛出、ハンドルを切った際ガードレールに打付、顔鎖骨骨折	91
29	〃	45	作業中足をすべらせ1.2mから転落、右脇、腹、打撲	9
27	富田	54	配達中車から降り際ドアで指をはさみひびが入った。	20
7.3	桑名	55	電線をカッターで切断中右腕ひじ捻挫	30
21	四日市	49	作業中脚立から転落、肋骨、骨折	30
23	鈴鹿	41	鉄パイプ配管中手がすべり右足、股8cm切り9針縫った	15
24	四日市	54	幹線ケーブル張替中相手が転落したので鉄柱から下りる際右足カガト骨折	35
24	〃	20	幹線ケーブル張替中足をすべらせ6.7m上から転落、胸、腰打撲	90
27	亀山	30	配線工事中鉄板で中指をはさんだ	60
8.22	桑名	33	作業車運転中レバーと鉄骨の間に指をはさまれ負傷	60
9.20	四日市	41	作業中脚立の一番上の段でバランスを失い転落、腰骨骨折	90

## 〈共済会だより〉

全員加入による三重県電気工事業共済会事業の中でも大きなウエイトをしめる、「第三者損害賠償補償」業務の大東京火災海上保険㈱との保険契約更新を本年度も11月1日付にて無事完了いたしました。

昨年11月1日から1カ年間の事故発生内容は別表のとおりでありました。同期間内比での発生件数は59年度(17件)、60年度(36件)61年度(38件)と増加傾向にあります。一方補償額については幸い本年度は特に大型事故が減少したためか、現時点では昨年度より減少しております。

内容的には初歩的なミスである誤結線が10件あり、天井配線工事中の不注意による事故も目立っております。また今回はじめて工事中の電線の垂れ下りによる人身事故の発生、コンピュータ関係事故等、工事の多様化に伴う事故発生状況も複雑化しております。工事専門業者としての信用面にも大きな損失であり、一層の点検確認により、再発防止にご努力の程お願いいたします。

## 第三者損害賠償事故発生状況 (60/11~61/10)

No.	地区名	事故発生年月日	補償額(円)	事 故 内 容
1	伊勢	60.10.28	248,000	誤結線により便器コンセントへ200V流入、焼損(2台)
2	桑名	60.11.5	50,000	流し元灯取付工事の際調理台に乗ったため曲りを入れ破損した
3	伊勢	60.11.5	79,530	水銀灯新設工事中大雨のため基礎部分が土砂によりつまり、床上浸水により家具汚損
4	四日市	60.11.19	93,300	架空線工事中、強風のため梯子が倒れ、駐車中の車を損傷
5	津	60.11.21	50,000	照明工事中、誤結線により200V流入、カラーランプ14基焼損
6	桑名	60.11.25	38,450	作業中梯子が倒れ、通行中の自動車に当たり、ボンネット破損
7	松阪	60.12.9	55,000	照明器具取替工事中、ショートさせ調光器焼損
8	伊勢	60.12.29	932,450	結線誤りにより200V送電、コンピューター機器損傷
9	松阪	61.1.9	83,380	3階屋上より動力盤降中、ロープが切れ物置小屋に落下破損
10	鳥羽	61.1.10	180,730	照明器具取付工事中、誤って鏡に当て、3枚破損(鏡付の柱)
11	松阪	61.1.16	29,500	屋上よりクーラー屋外機を運搬中、パイプを落し、車のボンネット破損
12	鈴鹿	61.2.3	125,000	電線管撤去工事中、誤って天井板破損
13	四日市	61.2.10	109,700	誤結線により200V流入、自動販売機焼損
14	桑名	61.2.24	377,050	照明器具取付送電の際誤って200V流入、73台焼損
15	四日市	61.2.26	40,000	電線ドラムをジャッキに乗せる時誤って転がりガラス破損
16	ク	61.2.28	72,000	増築による改修工事中角材にて天井破損
17	松阪	61.3.5	32,700	引込線張替工事中、誤結線により200V流入機器焼損
18	桑名	61.3.11	90,000	工場内で自動的に機械が動くことに気付かず梯子をかけたため機械の移動によりタンク破損
19	津	61.3.18	32,000	茶室の照明工事のため室内に入り戸を開ける際誤って戸を破損
20	伊勢	61.3.19	230,040	火報設備点検中誤ってハロンガス設備を起動させ、ガスを放出させた
21	松阪	61.3.24	99,000	ベランダ新設による引込線改修時、ベランダを破損
22	久居	61.4.9	501,330	変電設備移設工事中二次側延長接続時電灯回路中性線を誤接続のため機器焼損
23	四日市	61.4.14	115,680	クーラ工事中誤結線により機器焼損
24	ク	61.4.20	80,300	クレーンでキュービクル移動中、屋根破損
25	松阪	61.5.2	210,710	配電盤改修中、中線ビスゆるみにより200V流入機器破損
26	上野	61.5.7	53,850	臨時電柱建中の際柱が倒れ通行中の自動車のフロントガラス破損
27	津	61.5.14	42,450	天井配線工事中、洋間天井を踏み外し破損
28	久居	61.6.9	12,500	照明器具取付中、ベンチを落下、洗面化粧台を破損
29	上野	61.6.10	19,650	電話工事に伴うアース棒が地中排水管に当たり漏水した
30	伊勢	61.6.18	43,000	動力引込線工事後、誤結線によりシャッターを逆回転させ2台破損
31	上野	61.6.22	90,000	工事中「額」に電線が引っかかり落下、額、カウンターケース破損
32	鈴鹿	61.6.26		分電盤工事中、スイッチを落とし、洗面ユニットを破損
33	伊勢	61.7.26		柱上作業中、垂れ下った電線に進行中のバイクが引っ掛り転倒した
34	富田	61.7.30	34,000	工事用フェンスが自動車の風圧により倒れ看板を破損
35	四日市	61.8.29	51,200	梯子が風により倒れ、車道の自動車を損傷
36	鶴方	61.10.2	81,421	家屋の取壊しに伴う分電盤移設工事中、誤結線により200V流入機器焼損
37	四日市	61.10.5		クーラー配線工事中、天井ボードを破損
38	津	61.10.5	45,000	天井照明取付工事中、ドライバーを落し便器を破損

### 各種講習会、試験日程のお知らせ

#### ① 消防設備士講習会

イ、(対象者)

免状交付から2年以内、または前回講習から5年以内の消防設備士

ロ、(受付期限、受講料)

昭和62年1月20日(火)までに五、〇〇〇円の三重県収入証紙を貼付して、(財)三重県消防設備保守協会へ提出。

ハ、講習区分・日程・場所  
(別表のとおり)

#### ② 石油燃焼機器技術講習会

イ、(対象者)

石油燃焼機器の設置および点検・整備(販売)業務に従事する者(火災予防条例に基くもの)

ロ、開催日時

昭和62年2月17日(火)～2月19日(木)の三日間(各9時～17時)

ハ、開催場所  
四日市市西新地  
四日市市消防本部

#### 防災センター

ニ、受講料

講習料 一、二、〇〇〇円  
教材費 三、〇〇〇円  
計 一五、〇〇〇円

ホ、申込み

昭和62年2月5日(木)までに各地区事務局または(財)日本石油燃焼機器保守協会。

③ 62年度電気工事資格試験  
(実施予定)  
イ、電気工事士試験  
○願書受付期間  
昭和62年3月19日(木)～4月3日(金)まで  
○試験実施日  
筆記—昭和62年5月31日(日)  
技能—昭和62年7月26日(日)

#### 講習実施区分及び講習の対象となる消防設備士の種類及び区分

講習区分	種類	区分
第1種	甲種・乙種	第1類
第2種	甲種・乙種	第2類
第3種	甲種・乙種	第3類
第4種	甲種・乙種	第4類
第5種	乙種	第5類

講習日及び場所 (時間は午前10時から午後5時まで)

講習区分	講習日	講習場所
第1種	昭和62年1月27日(火)	四日市市新正4丁目8-12
第2種	昭和62年1月28日(水)	三重県四日市庁舎
第3種	昭和62年1月29日(木)	6階 大会議室
第4種	昭和62年2月3日(火)	津市栄町1丁目147番地の5
第5種	昭和62年2月4日(水)	三重県勤労者福祉会館
第6種	昭和62年2月5日(木)	6階 講堂

○試験実施日  
昭和62年5月6日(水)～5月20日(水)まで

○願書受付期間  
昭和62年5月6日(水)～5月20日(水)まで

○第三種電気主任技術者  
国家試験

○願書受付期間  
昭和62年5月6日(水)～5月20日(水)まで

○試験実施日

昭和62年8月22日(土)

～8月23日(日)

○願書受付期間  
昭和62年10月20日(火)

試験

○願書受付期間  
昭和62年10月20日(火)

○願書受付期間  
昭和62年10月20日(火)

～10月30日(金)まで  
○試験実施日  
昭和62年12月13日(日)

○願書受付期間  
昭和62年10月20日(火)

○願書受付期間  
昭和62年10月20日(火)

### 青年部会の研修見学会

61年度青年部会の研修見学会を11月16日～17日実施、本年度は中部電力㈱・中部原子力懇談会の協力を得て福井県的美浜原子力発電所を研修見学。

青年部会会員の交流の場が少ないこともあり16日の日曜日にはお互いの親睦と情報交換の場として折角の機会でもあり貸切バスにて一路北陸路へ入り周遊のあと、芦原へ一泊。

翌朝は研修見学の時間の関係上、8時出発、9時30分より11時30分まで美浜原子力PRセンターにおいて研修、特に三重県での芦原原発建設問題が長期化している現在、同じ電気工事業

に從事する者として、大いに知識を広めるとともに理解を深めようと概要説明のあと、

●福井県下における反原子力発電の開発状況

●地域住民との共存共栄の実態。

などを中心に研修・意見交換を行なった。

研修終了後所内の諸施設について係員からの詳細な説明により見学、短時間ではあったが他電力管内ではあるが原子力発電施設の先進地である北陸地方の実態の一端にふれることができ、有意義な研修見学会と

員相互の親睦を大いに深めることができた。

# 全日電工連の

## 実態調査結果について

61年1月から2月にかけて、みなさんのご協力により実施された、全日電工連大での電気工事実態調査結果が集約されました。

全日電工連大での調査は14年ぶりに実施されましたが、当三重工組の実態についてははさききに事業者台帳の集計発表のおとりで組織関係などについてはご承知のとおりであります。今回はさらに営業活動内容等の分折もされているので、業界内の実態がよりよくご理解いただけるものと思えます。

三重工組の実態は次ページのとおりでありますが、総売上高では一〇〇〇万円以下が約三五%、三〇〇〇万円以下となると全体の六九%となっております。

営業種目については技術革新の時代とともに設備工事部門に進出されつつある状況がうかがえます。

元請約四七%、下請約五三%となっており、下請の約六四%が建設業からと、全国的な傾向となっております。

全日電工連では全国の中小電気工事業者の唯一の組織として全組合員の協力により電気工事業者の社会的・経済的地位の向上を目指す事業を前進させ、業界発展に寄与するために、現在の業界の実態を把握し、今後の活路を見出すべく、今回の調査が実施されたもので、本調査結果を全国の各組合役員、組合員一同有効に活用されることを望んでいます。

なお全国各県別結果の報告書は組合役員、各支部事務局に配布済みでありますのでご参考にしてください。

(7ページ参照)

# 用語解説

人の声のように連続的大きさ(強弱)が変化するアナログ信号に対して、「0」、「1」の二種類の信号のみが組み合わさって、時々刻々と不連続に変化するデジタル信号。

このデジタル信号を使って行うのがデジタル通信で、例えばデジタルファクシミリでは、文書や図面を画素という小さな点に分解し、各画素の濃淡信号「0

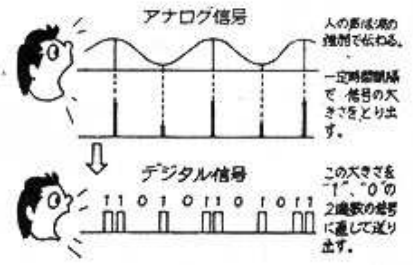


## デジタル通信

「あるいは「1」に符号化して、電話回線ですりとりする。アナログ通信に比べて雑音に強く、鮮明な画像が送れるほか、高速の通信が可能となる。また電話、データ通信、画像通信などの情報をパルスの有無で画

一的に扱え、通信網の有効利用が可能。さらにデジタル信号は、不要な情報を抜く情報圧縮処理や、暗号処理などの信号処理および蓄積が容易にできるため、伝送路の経済化や設備の有効利用、同報通信、異速度宅内機器間通信などの新サービスが可能となる。コンピュータなどで扱うデジタルデータを高速かつ正確に伝送

### 信号の伝わり方



できるよう、電話機から送られてくるアナログ信号を入り口でデジタル信号に変換し、出口で元のアナログ信号に戻す仕組みで、電話網をデジタル化するものが「デジタル交換機」。入ってくるアナログ信号の波形に対して、八〇〇〇分の一秒ごとに縦に線を引き、この線一本ごとにその長さを八ケタの二進数(0または1の合計が八個)に変換して、一本の線の長さを八ビットのデジタルデータ化。一本の線路上に八ビット単位で分割され、並んだ音声信号の順番を入れ替えることによって交換を行う。

(電気新聞より転載)

電気工事実態調査表

(三重)

項 目			項 目			項 目				
件数			件数			件数				
組織形態	記入数	921	営業種目別比率	記入数	805	資格取得者	記入数	882		
	個人	695		送配電線工事	1.4%		主任技術者	139		
	法人	226		電力会社引込線委託工事	9.5	高圧電気工事技術者	314			
資本金	記入数	221		構内配線工事	65.4	電気工事士	2,110			
	100万円未満	16		防災工事	2.2	消防設備士(甲)	462			
	300万円未満	69		通信工事	1.8	消防設備士(乙)	393			
	500万円未満	43		ネオン工事	0.1	電気通信設備工事担任者	110			
	1000万円未満	47		空調設備工事	2.9	その他の資格	137			
	2000万円未満	24		管工事	1.2					
	3000万円未満	12		機器販売修理	11.6	工事用	記入数	920		
	5000万円未満	4		その他の工事	3.8	車両保有台数	クレーン付トラック	43		
	1億円未満	2					建柱車	20		
	1億円以上	4					高所作業車	14		
登録等の種類	記入数	921	受注先	元請	46.8%		作業用車両	1,977		
	電気工事業	587		下請	53.2	福利厚生制	労働保険	雇用保険	225	
	大臣届出	6		官公庁間	5.6			労災保険	663	
	局長届出	2		民間	94.4		労働保険事務組合加入	217		
	知事届出	326		下請	同業より	15.9		国民健康保険	628	
	建設業許可	6			同建設業より	63.6		政府管掌保険	92	
	大臣・特定	2			その他より	20.5		国民年金保険	413	
	大臣・一般	15		従業員数個人	記入数	514		厚生年金保険	135	
	知事・特定	311			1人	84		厚生年金基金加入	42	
					2人	164		グループ共済	0	
総売上高(59年度)	記入数	876			3~4人	226		第三者賠償保険	0	
	500万円未満	144			5~9人	39		第二労災上乗保険	0	
	1000万円未満	165			10人以上	1		経営者大型保証保険	10	
	3000万円未満	294			従業員数法人	記入数	172		経営者健康年金	1
	5000万円未満	102			1~4人	39		その他の保険等	636	
	1億円未満	90			5~9人	76	退職金制度	記入数	921	
	5億円未満	69			10~19人	39			あり	238
	5億円以上	12			20~29人	9			中小企業退職金共済制度	125
					30~49人	7			建設業退職金共済制度	46
					50~99人	2			その他	45
				100~199人				なし	593	
				200~299人						
				300人以上						
営業種目	記入数	921	年代別従業員数比率	記入数	801					
	送配電線工事	32		20歳未満	2.0%					
	電力会社引込線委託工事	605		20~29歳	25.4					
	構内配線工事	846		30~39歳	31.6					
	防災工事	229		40~49歳	22.6					
	通信工事	164		50~59歳	13.2					
	ネオン工事	15		60~69歳	4.4					
	空調設備工事	244		70歳以上	0.8					
	管工事	92								
	機器販売修理	391								
その他の工事	210									

### 交通安全ニュース

三重県下の交通死亡事故は、依然として増加が続き、10月末現在一六二件（一七六人）を数え、昨年同期に比べ二件（六人）増と厳しい状況であります。

このうち若年運転者による死亡事故は五十件（五五人）と全体の約三〇%を占めており、特に夜間の発生が七割を越え、約半数が金曜日から日曜日にかけての週末発生で、カーブ路および交差点での事故が六割を占めるなど、死亡事故の特徴があらわれています。

これから年末にかけては、特に仕事の忙しさと、疲れによる「ウツカリ」やボンヤリ運転による事故、薄暮時における歩行者横断事故等、起りやすい季節であり、お互いに安全運転に徹し事故防止に万全を期しましょう。また11月1日から一般道路においてもシートベルトをしめないと行政処分点数、一点が付加されることになりましたので、必ずシートベルトを着用しましょう。

### 編集後記

いよいよ師走月も目前となり、各事業所のみならずもますます忙しく年内工事にご活躍のことと存じます。今回はこのような時期を控え、一歩もゆるがせにできない安全関係について特集いたしました。

全員が揃って年内工事

を無事故で終了し、新たな決意で新年をお迎えしたいものと祈念いたしております。来年度の各種講習会、試験日程の一部が発表されました。来年に向けてチャレンジされる方のご健闘を祈ります。それでは皆さんよきお年をお迎え下さい。

## 実際の工事は、常に専門業者が行う

### 分離発注促進シリーズ ④

従って設備工事は、専門の技術者を抱えた、豊富な経験を持った専門工事業者の手によって行われなければなりません。現実ですべての設備工事は専門の設備業者の手によって責任施工されています。たとえ建築主が建築業者に一切をまとめて発注されても、実際には設備工事は常に専門の設備業者の手によって責任施工されているのが実状です。しかも、それは他の専門職種のように建築物の一部を担当しているものとは違い、建築構造体と分流したシステムのもとに、設備を総括して責任施工しているのです。

